

# ホタテガイ養殖管理情報

中層の水温が上昇してきたので、成貝・新貝の施設は、水温の低い下層へ沈めて安定させましょう。

また、水温が26℃を超える時は、稚貝採取をやめましょう。

## 1 海況

7月26日～8月1日の各ブイの水温は表1、図1、2のとおりです。

津軽暖流の流れ込みにより平館ブイの15m層、蓬田ブイの10m層と15m層、奥内ブイの10m層では水温が断続的に23℃を超える日ができました。

また、気温の影響により全湾的に表層の水温が急激に上昇しており、青森ブイ、清水川ブイ、野辺地ブイ、横浜ブイ、浜奥内ブイの1m層では水温が26℃を超える日ができました。

## 2 今後の養殖管理の注意点

成貝・新貝は、水温が23℃を超えるとへい死する恐れがあります。施設をできるだけ水温が低い下層に沈めて安定させましょう。

稚貝は、水温が26℃を超えるとへい死する恐れがあります。水温には十分注意し、26℃を超す場合は、稚貝採取をしないでください。

海況自動観測ブイならびに水温自動観測ブイの水温は下記（ホームページ、QRコード）を参考にするとともに、タライや水槽の水温を計るようにしてください。

26℃以下でも稚貝採取を行う場合には以下の点に気をつけてください。

- ・早朝の涼しい時間帯に行い、シート等で直射日光を防ぐ。
- ・水温が高いと酸欠にもなりやすいので、海水はできるだけ水温の低い深い水深からくみ上げて使う。
- ・タライや水槽の海水はかけ流しにするか、頻繁に交換する。
- ・稚貝は乾燥にも弱いので作業は手早く行う。
- ・採取後の稚貝が足糸でネットに付着しているかどうか見ながら作業を進める。
- ・水深が浅いほど水温は高く、潮も速いので、採取後は施設を中層以深に沈めて安定させる。

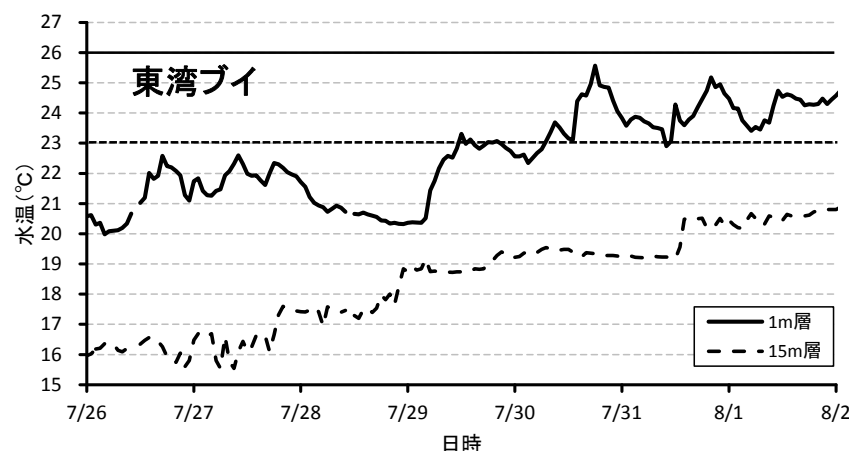
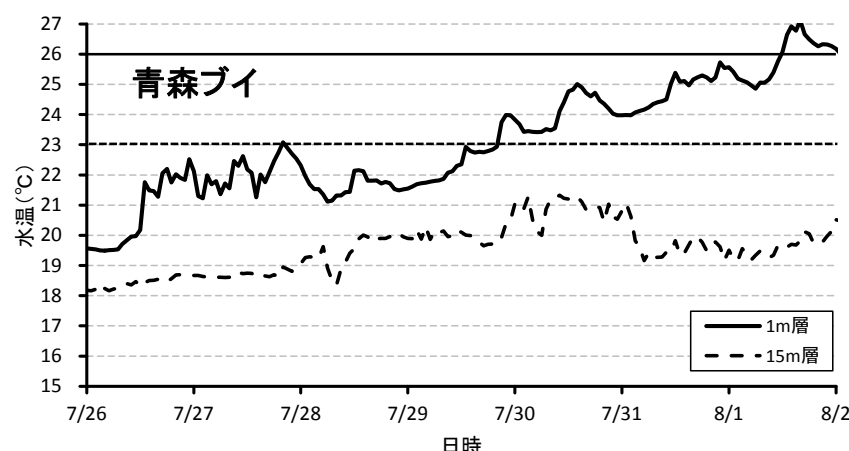
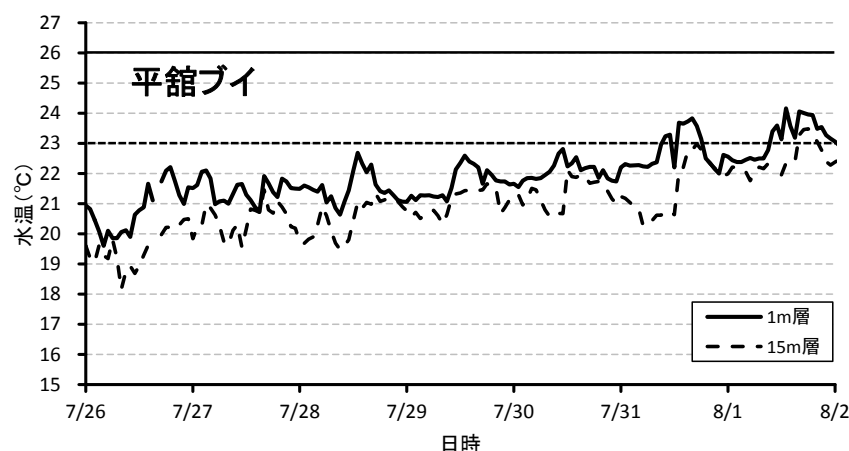


図1 海況自動観測ブイでの1m層および15m層の毎時の水温変化

発行元：地方独立行政法人

青森県産業技術センター 水産総合研究所

住所：青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10

TEL：017-755-2155 FAX：017-755-2156

陸奥湾海況自動観測システムホームページ

ホームページURL：<http://www.mutsuwanbuoy.jp>

携帯電話URL：<http://www.mutsuwanbuoy.jp/mobile/top.php>

ユビキタスブイシステムホームページ

ホームページURL：<http://buoy.jp>

携帯電話URL：<http://buoy.jp/mobile.html>



蓬田、東田沢  
清水川、横浜  
川内、脇野沢